

## スピーチ大会 原稿

皆さん、こんにちは。初めまして。私はバルデラマ・ペドロと申します。今日は私のわすれられないしゅんかんについて話したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。まず皆さんに質問させてください。皆さんにはわすれられないしゅんかんがありますか。私にはあります。

私にはコロンビア国立大学に入学したことやJOYプログラムに入学し、ついに日本に来ることができたことなど、わすれられないしゅんかんがたくさんあり、またどれも私にとって特別なものなので、その中から一つだけ選ぶというのは難しいです。

しかし、もし一つ選ぶとすれば、JOYプログラムへの入学を認めるメールを受けた瞬間を選びます。なぜなら、そのメールは子供の時からの夢であった「日本で生活」を意味したからです。

私は子供の時から、歌舞伎や囲碁、伝統的な建築物など日本の様々なものに興味があり、いつか日本で勉強したいと考えていました。しかし、私が考えていた以上に日本に留学するというのは大変なことでした。留学のために日本語の勉強はもちろんコロンビア大学で良い成績をとることが必要でした。そのため、周りの人の何倍も勉強しました。そうした苦勞をのりこえたからこそ私が受け入れられたことを告げるメールを読んだ瞬間、とても嬉しかったです。

日本では楽しいことも多くありますが、日本に来たばかりのころはコミュニケーションがうまく取れず寂しかったです。ですが、時間が経つにつれてたくさんの人に出会い、多くの友達ができました。

最後に、私はこれから生きていく中で多くの忘れられない瞬間に出会おうと確信しています。そのような

経験を当たり前と思わず感謝し、大切にしていきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。